

平成29年度（2017年度）広島経済大学 免許状更新講習シラバス

■教育内容の充実（選択領域）

講習の名称	商業科指導要領のポイント
実施日時	平成29年8月21日（月）9：00～10：40
担当教員	餅川 正雄
講習の狙い	高等学校における商業（ビジネス）教育の目標は「ビジネスの意義や役割について理解させる」ことであることを踏まえ、商業教育の新4分野の科目構成や新設された4科目を含めて科目内容を把握したうえで、専門教育の深化・発展を目指してどのようにデザインすべきかを考察する。
講習方法	講義
到達目標	1. 教科「商業」の学習指導要領の改訂がどのような視点で行われたかを論述できる。 2. 商業教育の新4分野の名称と分野ごとの科目構成を整理することができる。 3. 新設された4科目の名称とその目標及び内容を簡潔に記述することができる。
講習内容	1. 教科・商業科の改訂の視点は、ビジネスの世界の変化（経済のサービス化・グローバル化・ICTの急速な進展・知識基盤社会の到来など）であり、より進んだ学習や高度資格取得を視野に入れて科目改善が行なわれたことを講義する。 2. 商業（ビジネス）教育の新4分野である「マーケティング分野」・「ビジネス経済分野」・「会計分野」・「ビジネス情報分野」における科目構成について解説する。 3. 基礎的科目（ビジネス基礎）や総合的科目（総合実践・課題研究・ビジネス実務）の内容について、変更点を整理する。 4. 新科目として登場した「商品開発」・「管理会計」・「ビジネス経済」・「ビジネス情報管理」の目標と内容について分析する。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
教科書・教材・参考書	教科書『高等学校学習指導要領解説（商業編）』 その他、講習で使用する資料・レジュメは当日配付する。
成績評価方法	講習後に実施する筆記試験 60点以上を合格とする。
備考	

講習の名称	商業科教育の充実策と専門学科の適時性
実施日時	平成29年8月21日（月）10：50～12：30
担当教員	餅川 正雄
講習の狙い	高等学校における商業（ビジネス）教育の更なる充実策を検討し、21世紀に生きる若者に必要な職業能力がどのようなものかを考察し、実際の・体験的な学びの有効性を講義する。また、専門教育の適時性の視点から高等学校段階で身に付けることが最適と考えられるビジネスの基礎とは何かを考察し、高等学校における商業教育の存在価値を明らかにする。
講習方法	講義とグループ討論
到達目標	1. 商業（ビジネス）の世界で必要となる基礎的な知識・技術とは何かを列挙することができる。 2. 専門教育の「適時性」について検討し、具体的な事例をあげて論述することができる。 3. 専門学科と総合学科・普通科との違いを明確に理解し、それを指摘することができる。
講習内容	1. 高等学校における商業（ビジネス）教育の更なる充実・発展のために、何をどのように取り組むべきかを考える視点として、多様性 (diversity) と包摂性 (inclusion) の二つの方向があることを講義し、商業教育の特色と魅力は何かを考える。 2. 急激な経済社会の変化に適応していくためには、キャリア教育の考え方を注入した新しい商業教育を創造することが必要であり、その前提となる改革の方向性を考察し、商業の専門科目の学習適時性の問題と各種資格取得への取り組みについての課題を整理する。 3. 学習指導の形態としてのPBL（プロジェクト学習法）について、商業科教育にどのように導入していくのか、科目「課題研究」を題材として考察する。 4. 目標を設定して一生涯学び続けることができる人間の育成が最も重要であることを指摘し、会計分野などの例を取り上げ、「ビジネスの世界で生きていく心構え（；ビジネスマインド）」や「ビジネスの世界で生きていく能力」を育成するための専門性の深化や高大連携の在り方などについてグループ討論を行う。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。

教科書・教材・参考書	特になし。講習に必要な資料は、当日配付する。
成績評価方法	筆記試験 60 点以上を合格とする。
備考	

講習の名称	ビジネス情報とプログラミング
実施日時	平成 29 年 8 月 21 日 (月) 13:30~15:10
担当教員	杉山 克典
講習の狙い	「ビジネス情報」に関する基本的な知識および技術を習得する。
講習方法	座学と演習
到達目標	情報を効率的に処理することの重要性について理解する。
講習内容	Excel の VBA を使用し、処理の自動化に関する演習を行う。 また、プログラミング教育の現状と今後について解説を行う。
修了認定の方法	演習課題にて修了を認定する。
教科書・教材・参考書	必要な資料を配布する。
成績評価方法	演習課題
備考	

講習の名称	ビジネス情報管理
実施日時	平成 29 年 8 月 21 日 (月) 15:20~17:00
担当教員	杉山 克典
講習の狙い	「ビジネス情報管理」に関する基本的な知識を習得する。
講習方法	座学で講習を行う。
到達目標	ビジネスの諸活動において情報を管理し、共有することの意義や必要性について理解する。
講習内容	クラウド環境における情報共有の意義や必要性について解説を行う。 また、不正アクセスや情報漏洩に関して事例を紹介する。
修了認定の方法	筆記試験にて修了を認定する。
教科書・教材・参考書	必要な資料を配布する。
成績評価方法	筆記試験
備考	

講習の名称	マーケティング研究の最新動向、流通研究の最新動向、流通の現場を見る（現地視察）、視察結果の整理・講評
実施日時	平成 29 年 8 月 22 日 (火) 9:00~10:40、10:50~12:30、 13:30~15:10、15:20~17:00
担当教員	細井 謙一
講習の狙い	マーケティング・流通研究の最新動向を理解するとともに、現場の状況、教授法を理解する。
講習方法	担当教員による講義のほか、商業施設の視察、および事例研究も行う。

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング・流通研究の最新動向を理解する。 ・商業施設の視察をとり入れた教授法のポイントを習得する。 ・事例研究を取り入れた教授法のポイントを習得する。
講習内容	マーケティングの最新研究や現場の状況を、それを取り巻く流通全体の広い枠組みの中で理解する。流通業は変化対応業だと言われるほど、変化の激しい世界であり、その現実も、それを説明する理論も、常に変化している。本講習では、流通の最新事情、最新理論を講義するとともに、実際に商業施設を視察して、流通の最新動向について実感をともなう確かな理解を目指す。また、視察や事例研究を取り入れた、教授法のポイントについても、講義する。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
教科書・教材・参考書	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
成績評価方法	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
備考	

講習の名称	会計研究の最新動向Ⅰ
実施日時	平成29年8月23日(水)9:00~10:40
担当教員	天王寺谷 達将
講習の狙い	会計研究の最新動向を把握することで、簿記・会計教育の能力向上を図る。
講習方法	教員による講義
到達目標	本講習は、会計研究の最新動向を把握することで、実践的な簿記・会計教育に資する知見を得ることが目的である。近時の会計研究を題材にした講義を通じて、簿記・会計教育における実務面・実践面の指導力強化を図る。
講習内容	本講習においては、会計研究の多面的な部分を概観したうえで、現在、どのような領域に注目が集まり、何が目的とされ、何が明らかにされようとしているのかを確認する。さらに、簿記・会計教育への影響を考察する。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
教科書・教材・参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
成績評価方法	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
備考	キーワード：財務会計、管理会計

講習の名称	会計研究の最新動向Ⅱ
実施日時	平成29年8月23日(水)10:50~12:30
担当教員	天王寺谷 達将
講習の狙い	会計研究の最新動向を把握することで、簿記・会計教育の能力向上を図る。
講習方法	教員による講義
到達目標	本講習は、会計研究の最新動向を把握することで、実践的な簿記・会計教育に資する知見を得ることが目的である。近時の会計研究を題材にした講義を通じて、簿記・会計教育における実務面・実践面の指導力強化を図る。

講 習 内 容	本講習においては、会計研究の多面的な部分を概観したうえで、現在、どのような領域に注目が集まり、何が目的とされ、何が明らかにされようとしているのかを確認する。さらに、簿記・会計教育への影響を考察する。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
教科書・教材・参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
成績評価方法	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
備 考	キーワード：財務会計、管理会計

講 習 の 名 称	高校生に伝えたい経営学Ⅰ
実 施 日 時	平成29年8月23日(水) 13:30~15:10
担 当 教 員	堀江 浩司
講 習 の 狙 い	高校生が関心を持ちやすい企業における戦略や組織づくりについて理解を深める。
講 習 方 法	講義形式で行う。
到 達 目 標	流通業における価値創造の重要性を把握する。
講 習 内 容	企業を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、その変化に対応できない企業は淘汰されつつある。また、昨今の経済状況は多くの企業を苦しめている。しかし、その一方で環境変化に柔軟に対応し、新しい価値を提供することで業績を伸ばす企業も存在する。本講習では、高校生もよく知っている企業(流通業)のケースを取り上げ、その戦略やビジネスの仕組みについて講義する。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
教科書・教材・参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
成績評価方法	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。
備 考	キーワード：価値創造、仕組みづくり、ブランド、ポジショニング

講 習 の 名 称	高校生に伝えたい経営学Ⅱ
実 施 日 時	平成29年8月23日(水) 15:20~17:00
担 当 教 員	堀江 浩司
講 習 の 狙 い	高校生が関心を持ちやすい製品開発の事例から市場創造についての理解を深める。
講 習 方 法	講義形式で行う。
到 達 目 標	製造業における価値創造の重要性を把握する。
講 習 内 容	企業を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、その変化に対応できない企業は淘汰されつつある。また、昨今の経済状況は多くの企業を苦しめている。しかし、その一方で環境変化に柔軟に対応し、新しい価値を提供することで業績を伸ばす企業も存在する。本講習では、高校生もよく知っている企業のケースを取り上げ、価値や市場の創造の仕組みについて講義する。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。選択科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
教科書・教材・参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
成績評価方法	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。
備 考	キーワード：価値創造、イノベーション、創造性、ビジネス・システム